

ショウガ科 ショウガ属

ミョウガ (茗荷)

Zingiber mioga (Thunb.) Roscoe

自生環境

林縁、林内 など

原産地

中国

予想される被害

(今のところ特になし)

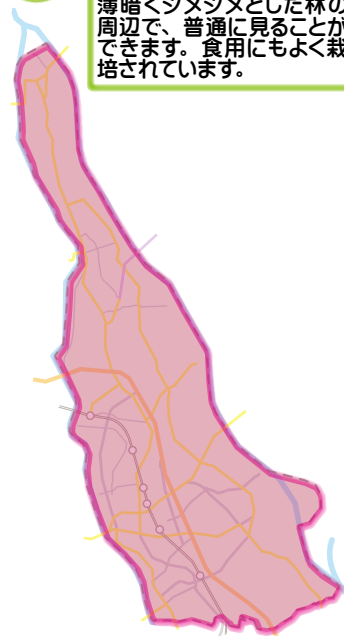
古い時代に渡来した外来種で、野生状態となっています。生態系への影響がゼロとは言いきれませんが、現時点では、急に悪さをするとすることはなさそうです。

特徴

- ☆ 古い時代に中国から渡来したと考えられている多年草で、香辛野菜として栽培されるほか、各地の山林内に野生化しています。やぶ蚊がたくさんいそうなうす暗くてジメジメとした場所を好む傾向がありますが、日当たりのよい場所でも生育可能です。
- ☆ 草丈は 40 ~ 100cm ほど。地下茎を横にのばして新芽を出しながらどんどん増えていきます。葉は長さ 20 ~ 30cm ほどで先がとがります。表面は無毛で光沢がありますが、葉の質は薄くて柔らかく、破けやすい質感です。
- ☆ 夏になると、地中で花茎をのばし、その先につぼみをつけます。つぼみの部分は土の上から顔を出し、薄い黄色の花を咲かせます。ひとつの花は1日でしぼんでしまいます。きわめて稀ですが、赤い果実をつけることがあります。

市内の分布状況

薄暗くジメジメとした林の周辺で、普通に見ることができます。食用にもよく栽培されています。



食べているのは蕾

さわやかな香りがあるミョウガ。みそ汁の具や漬物としておなじみの香辛野菜です。ミョウガは夏になると、地中で花茎をのばし、その先端にできたつぼみが土から顔を出します。ふだんわたしたちが食べているのが、この若いつぼみで、「花みょうが」とも呼ばれています。ちなみに、茎を軟白栽培（暗い場所に置いてもやしのようにしたもの）も食用にされ、「みょうがたけ」と呼ばれています。

葉の長さは
20 ~ 30cm ほどで
先がとがる



花は株もとに咲く



つぼみ。
ちょうど
食べごろ

ひとつの花は
一日でしぼむ



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

